

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着・収納（3分）

- ① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。
 - ② 装着物を外し、正しく収納する。
- （使用機材） 各自通常使用中の上記装具

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（8分）

- ① かえる又結び ② 巻結び ③ もやい結び ④ バックスプライス
- （使用機材） 長さ2m、中程度の太さのロープ数本

(2) 網針に網糸を巻く（1分）

- 現場で使用している網針に5mの網糸を巻く。
- （使用機材） 通常使用する網針、5mの網糸

(3) 破れ目の補修（15分）

- 網針と網糸を使い網地の破れ目（L字形）を修理する。
- （使用機材） 網針、網糸、網地

3. 漁具・漁労機械の操作

※ (1)、(2) についてはどちらかを選択する。

(1) ワーピングエンドの操作（6分）

- ロープ50mをワーピングエンドで巻き上げる。この場合、巻揚げの反対側端に5～10Kg程度の錘（鉛錘、鉄錘、サンドバック或いはプラスチック缶に水を入れたもの等）を取り付けておく。

（使用機材） ロープ50m、ワーピングエンド（キャプスタン、縦ローラー或いは横ローラー）

(2) 水中集魚灯の操作（11分）

- ① 水中集魚灯を水面直下まで下ろし、点灯。
- ② コードを操作し、降下。指定された水深まで水中集魚灯を降ろす。
- ③ 水面直下まで上昇させ、消灯。
- ④ 集魚灯を収納する。

（使用機材） 水中集魚灯（コードがリールに巻かれているウインチと一体のものでも、手作業でコードを捌くものでも良い。）、集魚灯の操作盤

(3) 環5個を環網に結ぶ（2分）

（使用機材） 環5個、環網5本、環網

4. 漁獲物の処理

(1) 漁獲物の選別（2分）

- まき網漁業で獲れる魚の写真40枚を見て、魚種ごとに選別を行う。（試験地により3種類以上の魚種を組み合わせる。）

（使用機材） 上記漁獲物の写真・・・大日本水産会が用意

以上